

Title: 海外フィールドワーク引率ブログ2012



海外フィールドワーク引率ブログ2012 > 2012年03月 アーカイブ

12.03.30

Day 15, From Taipei to Hanoi, Vietnam

[Tweet](#)[Check](#)

引率 富田です。

今年の海外フィールドワークも、3カ国目のここベトナムから最後の10カ国目中国まで富田が引率を担当させていただきます。よろしくお願ひします。

This is TOMITA.

From Vietnam, I travel in Asia with 4 students as an escorting staff.

本日午前、学生たちは台北よりここハノイに無事に到着。
ハノイ・ノイバイ空港にて再会を果たしました。

Today, They arrived at Hanoi safely.



早朝からの移動のため多少疲れの見える学生たちでしたが、3月16日に大阪を出発したときと比べると、少しずつですが旅に慣れてきているのを感じさせてくれました。



引率スタッフ
鈴木 里実
富田 隆徳



● 最近のエントリー

- ☑ Day 15, From Taipei to Hanoi, Vietnam (2012.03.30)
- ☑ Day 15, to Hanoi, Vietnam (2012.03.30)
- ☑ Day 13 Taipei, Taiwan (2012.03.28)
- ☑ Day 12, Taipei, Taiwan (2012.03.28)

● アーカイブ

- ☑ 2012年05月
- ☑ 2012年04月
- ☑ 2012年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS
Your Vision, Our Future



RSS 2.0

ホテルにて恒例の集合写真。

学生たちが手に持っているのは、FW5期生の浅井さん&岡田さんからの差し入れの日本のお菓子です。

二人ともありがとう！

Kasumi and Akina from FW5th grade presented Japanese sweets to the students!



いよいよカ国目、ベトナムのスタートです。

Now we start our travel in Vietnam.

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.03.30 | [バナーリンク](#) | [コメント\(3\)](#) | [トラックバック\(0\)](#) カテゴリ:

[海外フィールドワーク引率ブログ2012](#) > 2012年03月アーカイブ

Day 15, to Hanoi, Vietnam

[Tweet](#)

[Check](#)

引率スタッフ鈴木です。

台湾からいよいよカ国目のベトナムへ向けて出発です。
ベトナムへの準備や国別レポートなど、
やることがたくさんあるが学生達は、
ぼぼ一睡もしない状態で時間通りに集合。
まだ日が出ない早朝4:30。
ホテルから台北の桃園空港へ向け出発です。



行きの車内で色々雑談をしていると

長山: うん、最悪バックバックがなくなっても
パスポートとお金があればなんとかなるから。

谷瀬: そうそう。シャンプーも服も全部買えばいいしね。

という女子2人の会話にとっても楽しさを感じました。
たった15日間でもみんなは確実に成長しています。



45分後、無事到着。

英語が堪能な長山さんや池田くんにより
チェックインはもう十分自分たちで出来るので、
引率は遠くから見守っていました。

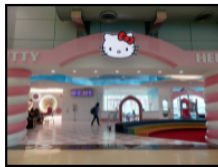
学生はベトナム航空利用のためターミナル1で搭乗手続きをしますが、
引率はエバー航空利用で東京に帰るためターミナル2へ移動します。
ただし彼らを見送りたいため、またターミナル1へ戻ることになる
(ゲートは繋がっていますが、端から端へ行くような状態)ので、
猛スピードで各種手続きを終え、全速力で彼らのゲートに向かいました。

なんとか鈴木は間に合ったものの、
なんと池田くんが搭乗開始時間になっても現れません...
長山さんと井関さんがセキュリティーチェックで
どんなにこれでも三脚の持ち込みが認められず没収され、
池田くんもおそらくそういった状況で遅れていると聞き、
鈴木は再びダッシュで戻りましたがどこにもいません...
出発20分前、遠くから走ってくる池田くんが！
どうやらカメラのバッテリーが没収されそうになり、
預け荷物に入れ直す等、搭乗手続きをもう一度最初から
やり直していたようです。

池田「何が起るか分かりませんね」



先の中で待っていた女子3人組。
全員無事に飛行機に乗ることができ、
ぼつとした鈴木はほぼ写真も撮れずに汗だくで彼らを見送り...



何から何まで〇ティーちゃんづくしの
(決して望んで手配したわけではありませんが...)
エバー航空にて東京に帰りました。
▼機内食までも、ちなみにトイレトペーパーもクッションも全て。



最後にたいして気の利いた言葉も
かけてあげられませんでした、
くれぐれも体には気をつけて、
旅も帰郷も楽しんでね！
短い間でしたが、ありがとうございました。

カテゴリ:

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.03.30 | [ポマリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2012 > 2012年03月 アーカイブ

12.03.28

Day 13 Taipei, Taiwan

[Tweet](#)

[Check](#)

引率スタッフ鈴木です。

前半は肌寒いとさえ感じた台北もやっと暑くなってきました。
自由取材期間の4日間を終え、今日は台北集合日です。
お世話になった公館の宿から指定泊へ移動しました。



宿のおばちゃんともお別れです。

3月29日 午後5時
4人全員元気に揃いました。



変化があったのは池田くん。
高雄で毎日何時間も外を歩いて撮影していたので、
こんがり黒くなりました。
台東にいた長山さんも、九份にいた谷瀬さんも、
充実した撮影ができたようでみんなの笑顔にほっとしました。

その後、ベトナムのフリーフィングを終えると
それまでの繕んでいた顔がぐっと引き締まります。

ある意味ここからが本番と言っても過言ではありません。

明後日の30日にベトナムへ移動しますが、
ここで引率交替するため鈴木は日本へ帰ります。
ベトナム以降はFW担当の雷田先生にバトンタッチです。
明日は1日ゆっくりする等、
3ヶ国目に向けて体力を温存しておきましょう。

カテゴリ:

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.03.28 | [ブログリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2012 > 2012年03月アーカイブ

Day 12, Taipei, Taiwan

[Tweet](#)

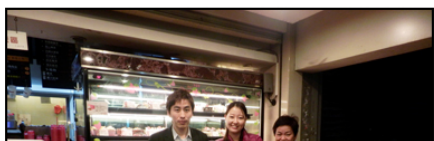
[Check](#)

引率スタッフ鈴木です。

涼しいというよりも少し寒い台北です。
今日は引率鈴木も終日自由行動だったので、
過去にお世話になった方々へ挨拶へ行いました。



中でも一番お会いしたかったのは、
"台湾の母"である数千恵さん。
彼女との出会いは約2年前。
私が某ツアーの添乗をした際、
ガイドとして就いたのが千恵さんでした。





▲右端が千恵さん、左端は千恵さんの元部下の林さん

そのツアーでは航空機が飛ばなかったり、お客様が新鮮線に荷物を置いてきてしまったり、迎えのバス車内がぐちゃぐちゃだったり...とにかくトラブル続きの連続で、当時まだ入社して1年ちょっとしか経っていない私にとってはとても大変な5日間でした。それでも千恵さんは

「こんな経験ができるなんて、みなさんとてもラッキーですよ!!!」

と笑顔でお客様の肩を叩いて回りました。そして私の耳元で「ほら、いつも笑顔は!？」とつぶやいた後「頑張ろう。何が方法はあるはず」と小さな声で言いました。

突然のルート変更等は自分だけの問題ではなく、ご高齢のお客様や次の観光時間にも配慮して検討する必要があり、それまでは私もFWの経験上、どんなに大変な移動にも耐えられる覚悟はあったものの、私が救済できるかどうかではなく、お金を出してツアーに参加したお客様にとって最善の手段を考えなければならず、限られた時間の中で代案をいくつ想定できるかそして何が一番良い手段かを状況に合わせて判断し実行に移さなくてはならないこと、そんな状況で笑顔を作る余裕など皆無で湧き上がる感情は不安だけでした。

“そんなこと私にできるだろうか?”

そう思った時、自分のフィールドワークがフラッシュバックしました。

企画立案？
自分で移動手段を手配する？
行った事もない海外で取材をする？
お金のやりくりをする？

“そんなこと私にできるだろうか?”

あの頃の私もそう思いました。でも結果的に私はFWをやりきることが出来たと思うといつも自信が湧いてきて、経験があるとか力を持っているとかの問題ではなく、「なんとかしたい」と本気で思っているかどうかが問題で、そのための手段を考えればいんだと思うと気が楽になりました。

そんな山あり谷ありの台湾周遊ツアーの最終日、空港で私は号泣、千恵さんも唇を噛み締めるながら「私の娘、ママはいつでも台湾で待ってるよ」と言って別れました。

あれから2年、ガイドだった千恵さんは某旅行会社の社長になっていました。

「私は一生ガイドをやっていくんだと思ってた。この年になって、改めて人生何が起こるか分からないと痛感したよ。この判断が正しかったのか今でもわからないけど、考えてるだけでは何も変わらないからね。だったらやってみようって。54歳から新しいことを始めるのはなかなか勇気がいるけど、今は自分のために働いているわけではないから。家族、会社の同僚、お金を貸してくれた古いガイド仲間たち、そういう人たちのために絶対にこの会社をなんとかしたくてね。おかげさまで儲かってます! (小声)」

▼千恵さんの会社に面接に来た就活中の佳術さん (24)



4月から採用されるそうです。

千恵さんと再会できたことでたくさん刺激を受け、背中を押され、とても前向きになれました。

ありがとうございます。
必ずまた会いに行きます。

カテゴリ:

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.03.26 | [バーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2012 > 2012年03月 アーカイブ

12.03.26

Day 9, Kaohsiung to Taipei, Taiwan

[Tweet](#)

[Check](#)

台湾のフリー期間が始まりました。

韓国に続き今回も一番早くホテルを出発する池田くん。



池田くんは集合日まで高雄に滞在するため、ここから別の宿に移ります。



続いて、長山さん。
高雄から台東へ出発です。
谷瀬さんは引率より後の出発時間のため
写真はありますが、無事に出発したようです。
そして井関さんと引率は台湾高速鉄道134号で台北を目指します。



約1時間半後に台北に到着し、
地下鉄を乗り継いで「公館駅」へ。



駅前で優しい青年に助けられました。
ホテルまで案内してくれた上に、
ネットの接続まで見守ってくれました。





その後、取材先の孤児院に向かうつもりが、なかなか住所がわかりません。番いた先が違う施設だったり、よくわからない相手と電話したり...。それでもなんとか無事に孤児院に到着しました。



いよいよ金員の撮影が本格始動します。

カテゴリ:

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.03.26 | [バーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

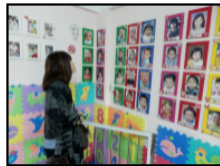
海外フィールドワーク引率ブログ2012 > 2012年03月 アーカイブ

Day 8, Kaohsiung, Taiwan

[Tweet](#)

[Check](#)

よくわからない相手と電話したり...。それでもなんとか無事に孤児院に到着しました。



いよいよ金員の撮影が本格始動します。

カテゴリ:

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.03.26 | [バーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

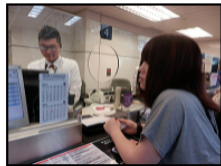
海外フィールドワーク引率ブログ2012 > 2012年03月 アーカイブ

Day 8, Kaohsiung, Taiwan

[Tweet](#)

[Check](#)

池田くん、谷瀬さん、長山さんは高雄駅にて下車し、井関さんは左営駅まで行きます。



昨日覚えた英語を今日使い、今日覚えた英語を明日使えるようになる。さっきまで不安だったことも、自分の力で乗り越えられたことで、次回は自信を持って進めることができる。海外でこうした日々を送ることで、徐々に「やろうと思えば何でもできる」という気持ちになっていきます。



ただチケットを買うだけでなく、乗り場を確認しておいたり、電光掲示板の見方を把握しておくなど、「何をしておけば明日の自分は困らないのか?」そういったことを日々、実体験から学んでいく学生たち。

カテゴリ:

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.03.26 | [バーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2012 > 2012年03月 アーカイブ

12.03.22

Day 7-02, Seoul, South Korea

[Tweet](#)

[Check](#)

午後4時
全さん科さんと別れた後、預けていた荷物をホテルに取りに戻り、そこから空港行きのバス停へ徒歩で向かいます。





カメラバックは車内に持ち込む為、
キャリーから外しておきます。



15分後、仁川空港行きのリムジンバスが到着しました。



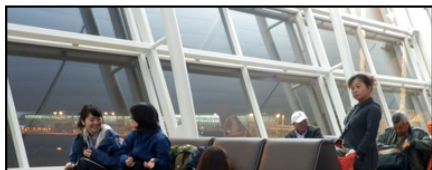
ここから約1時間かけて空港へ。



英語でチェックインをします

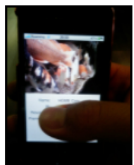


搭乗ゲートにて





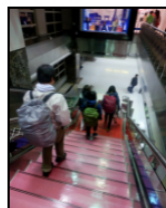
自宅で飼っている狸の様子をモニタリングする池田くん



定刻通り、21時出発です。



3時間後、台湾の高雄に無事到着しました。
飛行機を降りたとたん、熱風のお出迎えです。



入国審査を抜けて荷物を受け取り、税関を抜けたら
タクシーを2台に分乗し、早速借段交渉です。



高雄の学校指定泊に到着しました。



これから、第2カ国目「台湾」が始まります。

[Tweet](#)

[Check](#)

引率スタッフ鈴木です。

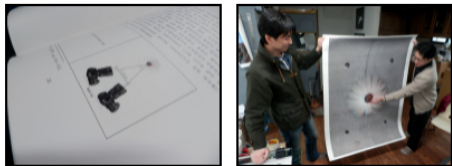
韓国最終日の今日はいつもお世話になっている
全さんのうへへ行ってきました。
ホテルのある駅から江南区庁へ。



午前11時、無事到着。



全さんは以前日本写真芸術専門学校で半年ほど交換職員で働いていた方で
朴さんは同校肖像科の卒業生です。



全さんは昨年の2011年に3D写真の個展を開かれたそうで、
その時のプリントやDM、論文等も見せて頂きながら、
3D写真制作方法を教えて頂きました。



その後、朴さんのポートフォリオも見せて頂き、
撮影のコツやカメラの機能を使ったワンポイントアドバイスなど、
色々ご指導頂きました。





そんな間にも事務所の電話はひっきりなしに鳴り、
お客さんも次々来店するなど、
本当にお忙しい中お時間を作って頂いたことを実感します。
学生たちもそんな先輩方を見て刺激を受けた様でした。


そして、近所のレストランにて昼食。
おいしいと評判の「ソルロンタン」です。



その後、6期生に続いて7期生も
ハッセルブラッド韓国へ連れて行っていただきました。



4000万画素の美しさに大興奮しながら撮影をさせてもらった後、
オフィスの下にあるギャラリーを見学しました。

 [ギャラリー-jpg](#)

▼集合写真を撮っている最中、写真校広報の市川さんから電話が！
全さんも朴さんもそのサプライズにとっても喜んでいらっしゃいました。



午後0時、敬大駅にてお別れです。



「くれぐれも気をつけて、素敵な旅を！」

全さんも朴さんもそのサプライズにとっても喜んでいらっしゃいました。

皆さん、皆さん、幸甚にのりがどうございました。

カテゴリ:

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.03.22 | [バナーリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2012 > 2012年03月 アーカイブ

12.03.21

Day 6, Seoul, South Korea

[Tweet](#)

[Check](#)

引率スタッフ鈴木です。

今日は韓国の集合日です。
学生全員元気にホテルに揃いました。



ウォーミングアップのFW第一カ国目として
韓国は問題なく通じました。
明日の夜には第二カ国目の台湾へ向かうため、
17時に引率部屋でフリーイングです。
台湾での注意点を読み合わせをします。



韓国最終日はいつもお世話になっている
チョンさんのラボへ行ってきます。

カテゴリ:

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.03.21 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2012 > 2012年03月 アーカイブ

12.03.19

Day 4, Kim, Kun Sung Solo Exhibition

[Tweet](#)

[Check](#)

引率スタッフ鈴木です。

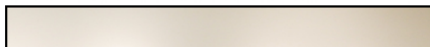
NPI卒業生のキム コンソンさんが今日（3月19日）まで
仁寺洞にて個展を開かれているとのことで、
早速見に行ってきました。



キムさんはNPIを卒業した後、
韓国に「ネオモード」という写真の専門学校を創設された方で、
現在はフリーカメラマンとして活躍されています。
展示されている作品は4～5年かけてまとめられ、
初めての個展だそうです。



少し先に油田くんが来ていて、
そのあと長山さんと会場でお会いすることができました。





今夜はキムさんのご家族の会葬会に温めて頂けることになり、御馳走になりました。



笑いの絶えない明るいキムさんとご家族の皆様のおかげで、会葬会は私たちが終始笑いっ放しでした。



FWは本当に様々な方々に支えられています。





キムさん、ありがとうございました。

カテゴリ:

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.03.19 | [バナーリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2012 > 2012年03月 アーカイブ

Day 4, To Seoul, South Korea

[Tweet](#)

[Check](#)

釜山で2泊した後、
今日から2日間韓国の個別泊がスタートします。
今年は4人全員同日の午前中にソウルへ移動します。
最初にホテルを出発したのは池田くん。



熊倉局長と別れの握手を交わします。



1時間後、女子3人の移動です。



バックパックや機材など20キロ近い荷物を持って実際に移動してみると、
階段や坂などで想像以上に時間がかかります。
予定時刻より30分早めに設定したことで、気持ちに余裕が持てました。





KTX124号（10:00発 → 12:39着）にて、ソウルへ出発です（谷瀬さんは別の車両です）



到着後、地下鉄の連絡口に向かい、各自宿への最寄り駅を探します。



谷瀬さんは路線が異なるのでここで別れ。



途中で長山さんとも別れ、引率は井岡さんに同行です。



「……………!?!」





同じ道を往復しながらも何度も地図を確認し、人に聞き、時に助けられながら、無事に今夜泊まるホテルに到着しました。



井間さん：「あーよかった！！安心した！！」

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.03.19 | [バーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

[海外フィールドワーク引率ブログ2012](#) > 2012年03月アーカイブ

12.03.18

Day 3, Busan, South Korea

[Tweet](#)

[Check](#)

引率スタッフ鈴木です。
今日は初めての終日自由行動日です。
鈴木は西面（ソミョン）を散策しました。



学生たちは実際に機材を持って歩く練習をしてみたり、翌日の移動をシュミレーションして乗り場を確認するなど、計画的に行動していました。
また、指定泊の近くにある国際市場の屋台で夕食を済ませるなど、楽しみながらも少しずつFWらしい生活へปรับตัวしています。

夜21時、全員集合。
明日以降の移動や体調等を確認します。
全員元気です。



カテゴリ:

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.03.18 | [バーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2012 > 2012年03月 アーカイブ

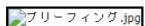
12.03.17

Day 2. The First City, Busan, South Korea

[Tweet](#)

[Check](#)

午前8時15分、韓国到着前のブリーフィング



出国カード・税関申告書を記入し、全員でハンドブックを読みます。
到着後の流れを確認し、ここからは本格的に学生主導です。
下船ラッシュを想定した上で4人で待ち合わせ時間を決めました。
(男女で部屋が分かっているため)



入国審査と手荷物検査、税関を通り抜けて迎えの車に乗ります。



午前11時10分、無事に学校指定泊（フェニックスホテル）に到着しました。



チェックイン担当はリーダーの長山さんです。
部屋がまだ1つしか用意されていないため、ひとまずその部屋に荷物をまとめ、
携帯からの連絡方法（引率携帯へのかけ方）などを全員で確認しました。



その後、フロントで地図をもらい、レストランの場所などを確認。



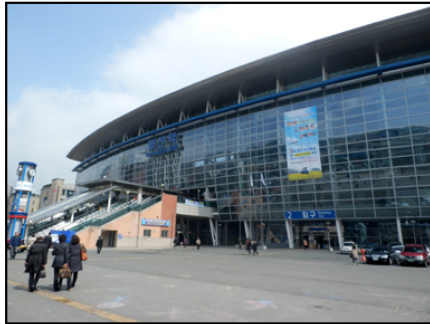
寒いながらも通り歩き、純豆腐チヂミや海鮮チヂミなど、早速、韓国料理をたくさん食べました。そして、もらった地図で現在地や地下鉄の路線図などを確認し、ここからどうやって釜山駅に向かうかみんなで相談します。



初めての地下鉄。表示は日本語が選択できるので難なくクリアです。



釜山駅に到着。



各自でソウル行きチケットを手配します。



その時、照査局長と駅でバッテリーお会いしました。
(同日、ホテルのロビーで夜に合流する予定でした)



5人でホテルへ戻ります。



ここ釜山は首都ソウルに次ぐ韓国第二の都市であり、
韓国最大の港湾都市です。



3月19日には全員ソウルへ移動するため
釜山で過ごせる時間はあまり多くありませんが、
FWは釜山で始まり釜山で終わるので
半年後には少し見え方が変わっているかもしれません。

今夜は熊倉局長に焼き肉を御馳走になりました。
「日新炭火カルビ」という焼肉専門店です。



「おいしい」の連発で限界まで食べ続ける学生たち。
私たちが入店した1時間後には満員になるほどの人気店！



エネルギーチャージができたところで、
また明日から気合いを入れて頑張らしましょう。

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.03.17 | [ボマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

[海外フィールドワーク引率ブログ2012](#) > 2012年03月 アーカイブ

Day 1-2, To Busan, Osaka, Japan

[Tweet](#)

[Check](#)

船は出航しました。
もう後戻りはできません。
覚悟を決めたらどっと楽れが出たようで、

気づいた時にはとっくに寝ていた井間さん、谷瀬さん。



午後5時30分
夕食は韓国料理のバイキングです。



「辛い・・・」



デザートがないと食事がつまらないスイーツ男子の池田くん

谷瀬さんはまだ夢中です。

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.03.17 | [バーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

[海外フィールドワーク引率ブログ2012](#) > 2012年03月 アーカイブ

Day 1, To Busan, Osaka, Japan

[Tweet](#)

[Check](#)

引率スタッフ鈴木です。
いよいよ出発の日を迎えました。



集合後、早速ブリーフィングです。



ブリーフィングでは第一回目のスクーリングまでに必要な学校指定泊ホテルの地図、パウチャー、航空券や、英文学生証、名刺、そして教務課の妻が詰まった「ハンドブック」を配布し、1つずつ内容の説明をしています。



毎年、出発当日に“無事に帰る”というFWにはびったりの縁起の良いカエルのお守りを贈っているのですが、今年は齋藤先生からもお守りを頂きました。





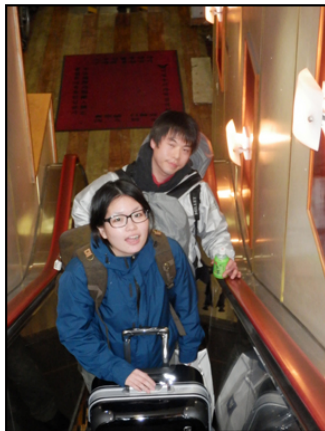
見送りに来て下さった本部の伊さんから激励のお言葉を頂き、差し入れに日本一おいしいと噂の肉まんとシューマイを頂きました。



そして恒例の出発前集合写真。



次にここに立つのは半年後。
速くなったみんなに会えるのが楽しみです。



午後3時10分、いよいよ出発です。

船に乗りながら一気に実感が湧いてきた学生たち。
涙が溢れて止まりません。



なんだか急に怖くなって、
本当に撮影が出来るのか不安でたまらなくて、
帰ってこられるか心配で、とても寂しくて、
押しつぶされそうだった4年前を思い出しました。
涙が溢れてくる気持ちは痛いほどよくわかります。



「必ず無事に帰ってきます」

見送りのスタッフはもう見えないのに
いつまでも手をふり続けました。

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.03.17 | [バナーリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

カテゴリ:

海外フィールドワーク引率ブログ2012 > 2012年03月 アーカイブ

12.03.15

Day -1 The 6th PFW Students' Photo Exhibition

[Tweet](#)

[Check](#)

引率スタッフ鈴木です。

7期生の出発を明日に控え、
今日から始まった6期生の卒業作品展を見に行ってきました。



6期生とはFW以外でも自主参加型のカンボジア研修や、
2年次の海外研修（パリ・アルル）と一緒にいくなど
個人的にはとても関わりが多かった代です。
なので彼女たちの帰国、そして報告会を楽しみにしていましたが、
当日、私は諸事情により行くことができなかったため、
今回の卒業作品展を出発前に必ず見に行くつもりでした。

初日の受付は小林さん、廣さんコンビです。



やっぱりきちんとした感じにしましょう。



写真を学び、フィールドワークに参加し、こうして最後に卒業作品として形にできた時、「ああ、これを達成感というんだ」と、心から実感したことを思い出しました。何かを続けてやり抜くことは簡単なことではありませんが、これからも先も時々FWを思い出しながら素敵な写真を撮ってください。



卒業作品展は小川町のオリンパスギャラリーにて3月21日まで開催です。
(10:00~18:00、ただし最終日のみ15:00まで)
みなさんもぜひ、足をお運びください。

そしていよいよ明日からは7期生の海外フィールドワークがスタートです。

カテゴリ:

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.03.15 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2012 > 2012年03月 アーカイブ

12.03.13

Day -3, 7th, Visa, Tokyo

[Tweet](#)

[Check](#)

引率スタッフ鈴木です。

海外フィールドワークの訪問国(10カ国)のうち、ビザを取らなければ入国できない国は3カ国なのですが、フィールドワークの行程ではベトナムと中国もビザ免除の条件を満たさないため、例年5カ国分のビザを取得した上で出発しています。(無査証で入国できる国でも、短期かつ観光目的であることや、出国のための航空券を持っているなどの条件を満たさなければ、ビザを取得しなければなりません)

ビザには有効期限があり、「入国時から○○日間まで」というものや、「申請時から○○日間まで」といったものもあります。発行は申請の翌日に発行されるものもあれば、ある程度の日数がかかることもあり、そういった全てを条件を加味しながら5カ国分の取得に向けたスケジュールを組んでいくため、例年出発2~3週間前から申請していく流れとなっています。

ベトナムビザ

ベトナムビザ

カンボジアビザ

カンボジアビザ

インドビザ

インドビザ

ネパールビザ

ネパールビザ

中国ビザ

中国ビザ

パスポート

今年も無事に全てビザが取得ができました。

このパスポートは出発当日に引率者から学生へ返却され、その日から帰国まで、当たり前ですが学生自身で管理をすることになります。絶対にはいけぬものがあるということは「常に気を抜けない」ということです。

自分の撮影や取材だけに集中していいのではなく、いつも、スリ・置き引きには特に注意をしなければならないということです。

海外では、命の次に大事なパスポート。

くれぐれも無くさないように気を付けましょう。

カテゴリ:

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.03.13 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2012 > 2012年03月 アーカイブ

12.03.06

Day -10, 7th Physical Preparation, Tokyo

引室スタッフ鈴木です。

海外フィールドワークでは、慣れない海外生活や撮影・移動の疲労により本人が思っている以上に免疫力が低下している状態が多々あります。そんな時、病気に罹らないためにも出発前の準備の1つとして、学生達はいくつかの予防接種を受けています。

今年も1月と2月に予防接種専門医である森次先生が来校し、6種類（A型・B型肝炎・狂犬病・日本脳炎・破傷風・腸チフス）のワクチンを打って頂きました。



元5期生のため、今回は追加接種をした池田くん



意外と笑顔の井関さん



注射が大の苦手・・・谷瀬さん



余裕の長山さん

ただし、これらの予防接種をしたからと言って、100%安心！という保証はありません。

病気の感染ルートは以下のものが考えられます。

①A型肝炎・・・

感染患者の便により汚染された水・氷・生野菜・魚介類などからの経口感染が中心。その他、ハエによる病原体付着、性交など。

⇒観光客が利用するレストランやホテルで出てくる食品は概ね問題のないことが多いですが、

ローカル色満点の屋台などでは危険性が高まるため、初年学生には極力信用性の低い食べ物を口にしないよう指導しています。

実際、数か国目にもなると体が慣れてきて多少のものでも問題がなくなることもありませんが、そんな時に限って食あたりを起こしたりするので、油断大敵です。

②B型肝炎・・・

性交、輸血、移植、刺青などの血液感染が中心。

⇒輸血により感染する可能性があるため、当たり前のことですが、

争奪や大喧嘩には十分気を付けなければなりません。

④狂犬病・・・

ウイルスに感染している犬や猫、コウモリなどの野生動物に噛まれる、引っ掻かれる、粘膜を舐められることにより感染する。

⇒海外において、あまり僻地なく野犬に近づく日本人は少なくありません。
日本国内ならまだしも、東南アジアにいる野犬は危険だという認識が必要です。
万が一、どこかを噛まれたりして、狂犬病を発症した場合、
致死率はほぼ100%です。軽率な行動は控えましょう。

余談になりますが、
私は過去、野犬のテリトリーに間違っって入ってしまったことにより、
ラオスで四匹の犬たちに追いかけて回されたことがあります。
とにかく必死で逃げましたが、どんだん距離を詰められ、
もう1mもないくらいになってしまった時、屏が目に入り一目散に逃げこみました。
間一髪で屏を開けたあと「ドンッ！！」と犬たちがドアにぶつかりました。
ガラス屏だったので、その後ドア越しにウロウロしながら、
緩気立った目でずっとこっちを見ていました。
恐ろしい体験でした。

⑤日本脳炎・・・

蚊（コガタアカイエカ）によってウイルスが媒介される。

⇒虫よけや蚊取り線香などを利用して、100%防ぐことはなかなか難しいですが、
不必要に夕方～夜にかけて出歩かないことで少しは防げるはずです。

⑥破傷風・・・

土壌や泥沼に生息する破傷風菌によって傷口感染する。

⇒万が一、怪我をしても切り傷はできるだけ早く洗い流すことが大切です。
（その際、水道水は避けた方が無難）

⑦腸チフス・・・

感染元はA型肝炎と同じです。

⇒私たち3期生の時、この病気にかかった同期が入院したことにより、
それ以降、この予防接種が追加されました。
実際には本当に「腸チフス」だったのが疑問が残る部分もありますが、
体温計が壊れているのではないかと思うほどいつまでも38度以上の
熱が続き、本当に辛かったです。

体を壊してしまうと、それまで積み重ねてきたものが崩れてしまいます。
スケジュールも組み直さなければならず、撮影・取材どころではなくなります。
ここに挙げない他の病気もたくさんありますが、
意識次第で未然に防げるものがほとんどなので、
学生のみんなには良い意味で常に緊張感を持つようにしてほしいです。
不必要に夕方～夜にかけて出歩かないことで少しは防げるはずです。

⑧破傷風・・・

土壌や泥沼に生息する破傷風菌によって傷口感染する。

⇒万が一、怪我をしても切り傷はできるだけ早く洗い流すことが大切です。
（その際、水道水は避けた方が無難）

⑨腸チフス・・・

感染元はA型肝炎と同じです。

⇒私たち3期生の時、この病気にかかった同期が入院したことにより、
それ以降、この予防接種が追加されました。
実際には本当に「腸チフス」だったのが疑問が残る部分もありますが、
体温計が壊れているのではないかと思うほどいつまでも38度以上の
熱が続き、本当に辛かったです。

体を壊してしまうと、それまで積み重ねてきたものが崩れてしまいます。
スケジュールも組み直さなければならず、撮影・取材どころではなくなります。
ここに挙げない他の病気もたくさんありますが、
意識次第で未然に防げるものがほとんどなので、
学生のみんなには良い意味で常に緊張感を持つようにしてほしいです。
不必要に夕方～夜にかけて出歩かないことで少しは防げるはずです。

⑩破傷風・・・

土壌や泥沼に生息する破傷風菌によって傷口感染する。

⇒万が一、怪我をしても切り傷はできるだけ早く洗い流すことが大切です。
（その際、水道水は避けた方が無難）

⑪腸チフス・・・

感染元はA型肝炎と同じです。

⇒私たち3期生の時、この病気にかかった同期が入院したことにより、
それ以降、この予防接種が追加されました。
実際には本当に「腸チフス」だったのが疑問が残る部分もありますが、
体温計が壊れているのではないかと思うほどいつまでも38度以上の
熱が続き、本当に辛かったです。

体を壊してしまうと、それまで積み重ねてきたものが崩れてしまいます。
スケジュールも組み直さなければならず、撮影・取材どころではなくなります。
ここに挙げない他の病気もたくさんありますが、
意識次第で未然に防げるものがほとんどなので、
学生のみんなには良い意味で常に緊張感を持つようにしてほしいです。

カテゴリ:

post by 引率スタッフ | 日時: 2012.03.06 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

海外フィールドワーク引率ブログ2012 > 2012年03月アーカイブ

12.03.03

Day-13, 7th Starting Ceremony,NPI,Tokyo

[Tweet](#)

[Check](#)

今年で7回目となる海外フィールドワークの出発が近づいてまいりましたので、
引率ブログを再開させていただきます。

今回、大阪～韓国～台湾までの15日間という短い期間ですが、
引率を担当します鈴木です。
私は3期生としてこの学科を卒業した後、業務委託会社に勤め、

FWの旅行手配など「学生」からいわゆる「裏方」へ回ったのですが、今度は「引率者」としてこのFWに参加することになりました。

私の人生に多大なる影響を与えてくれたこの学科に、これから大きな成長をとげるであろう学生達とまた海外へ出発できることを心から嬉しく思います。



④消耗品発注に関して

フィルムで撮影する学生はFW中に使用するフィルムを全て持ち歩くのは大変なので、数百本単位で時々発注をしながら撮影を進めていきます。それ以外にも写真を現像し、プリントするのももちろん本人なので、必要な薬品なども適宜発注していきます。そのため、例年発注の仕方などをこの時期に説明しているのですが、今年は全員デジタルなので発注の必要はありません。が、それ以外にも、写真展や撮影会など学生は自分の作品制作だけでなく、写真で社会貢献のできる現地企画も実施していくため、それらに必要な荷物を日本から現地へ発送しなければならず、そのためにはどのような手順を踏まなければならないのか、ということも説明していきます。



(説明を聞く長山さん)

そして今度は教務課FW担当の富田先生より、

⑤定時連絡に関して

FW中において、学生は原則週に3回は引率者に連絡をしなければなりません。月曜日は電話連絡（互いにネット環境があれば主にSkypeを利用）水・金はメール連絡です。

連絡する内容は以下

- ・滞在国および都市
- ・ホテル名／住所と電話番号／ルームNo./チェックイン・アウト日
- ・体調
- ・撮影状況および撮影枚数
- ・その他報告すべきこと

また、移動がある場合にはさらに追加して以下

- ・移動日時（出発および到着予定時間）
- ・移動場所（出発および到着予定場所）
- ・空港名／駅名／バスターミナル等
- ・移動方法（列車名、航空会社およびフライトNo.、バス会社および座席番号）
- ・移動後の宿泊予定先（ホテル名など）

学生たちは出発前にも何度も教務職員や講師陣と面談を重ねて、自分の作品テーマや取材目的、行動計画をより明確にしています。つまり出発する段階で既に183日間の自分のスケジュールというのが出来上がっているのです。

しかし、現場では様々な場面で裏切られます。

予約したはずのホテルが取れない
予定時刻に列車が出発しない
フライト欠航
用意した地図と実際の道が変わっている
急激に体調が悪くなる
取材相手が見つからない
想像していた現場と違う...

など、挙げればキリがないですが、こうしたことはごく稀ではなく、東南アジアではわりと頻繁に起こりうる事です。

こうした事情により行程の変更は常時ありますが、引率者は週に3回学生と連絡を取り合いながら、生存確認および学生が今どこで何をしているのか把握していきます。



(説明をする富田先生)

各国のレポートに関して、
国を移動する際、学生たちは各国での総括をレポートにして提出します。
撮影状況／ブログ更新状況／体調／移動や宿泊に関してなど、
学生自身がターゲット国、改めて自分自身を振り返る目的他に、
引率者だけでなくゼミの先生方や関係者も学生の状況を把握することができます。



(真剣に聞く池田くん)

⑤機材貸出について
希望者がいればFW中に使う機材（カメラやレンズなど）を
学校から借りる事が出来ますが、今年は誰も借りずに済みそうです。
全員私物の機材で出陣します。

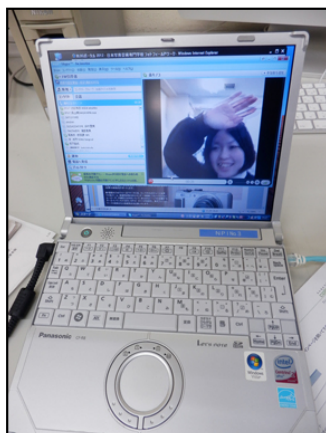
その後はFW規約などを読み上げました。



(規約を読む井原さん)

しばし昼休みを挟んだ後、
今度は広報の野村さんから当ブログの利用方法について教えて頂きました。
さすが、みんなあっという間にやり方を覚えていました。

最後に定時連絡の予行練習です。



(Skypeで引率に連絡をする谷渕さん)

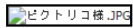
そして、15時。
いよいよ箱開式が始まりました。
ご協賛いただいているオリンパス株式会社 松崎様
富士フイルムイメージングシステムズ株式会社 島田様にもお話し頂き、
ありがたい激励のお言葉とご協賛品を預りました。



(手前から島田様、松崎様、樋口副校長、鈴木先生、板塚先生)



また、ビクトリコ株式会社様から本年度もフォトペーパーを頂戴しました。



そして、学生代表で井関さんが挨拶をしました。



始まる前からかなり緊張していたようでしたが、とても立派な挨拶でした。挨拶の後、オリンパス株式会社様よりご協賛頂いたコンパクトデジタルカメラ「OLYMPUS SH-21」を松崎様から学生に渡し頂き、最後に集合写真を撮り、無事に第7回海外フィールドワーク結団式が終了しました。



終了後、早速誰が何色のカメラにするか相談し、操作してみる女子学生たち



フォトフィールドワークゼミ創設者でもある教務課の長坂先生と操作する池田くん





(大喜びの学生たち)
3日以内にブログをアップする課題があることをお忘れなく！

カテゴリ:
post by 引率スタッフ | 日時: 2012.03.03 | [バーマリンク](#) | [コメント\(Q\)](#) | [トラックバック\(Q\)](#)